

令和2年度 第3回 平塚市博物館協議会会議録

開催日時 令和3年3月25日(木) 10時～11時30分

開催場所 平塚市博物館 講堂

会議出席者(敬称略)

会長 平井 晃

副会長 安室 知

委員 植田 育男、吉川 裕子、藤吉 敬子

事務局 平井社会教育部長、栗山館長、杉山館長代理(管理担当長)、浜野館長代理(学芸担当長)

傍聴者 0名

会議の概要

1 開 会 平井社会教育部長挨拶

2 議 事

(1) 報告事項等について

- ・ 令和2年度秋期特別展について
- ・ 緊急事態宣言に係る対応について

(2) 令和3年度予定について

- ・ 令和3年度当初予算について
- ・ 令和3年度事業計画について

(3) その他

- ・ 事務連絡等

3 閉 会

閉会后、春期特別展の展示解説

議事および質疑

議題(1) 報告事項等について

令和2年度秋期特別展について事務局浜野学芸担当長が説明資料により説明。

委員 情報の入手先が特別展によって違うというのは面白い傾向。SNSが非常に少ないというのは、今展示のように地域密着の内容では、特に口コミのネットワークが強く働いたように感じるというのは納得する。若い世代にSNSでの発信が有効に機能すれば、さらに増えたのではと、そういったところへの工夫があればと思う。

委員 「ホームページやSNSを見て」と「30代」の方があまりにも少ない。来場者はおられたようだが、この世代の行動にSNSなどがリンクしているところがあるように感じる。以前の「賢治」の時は、この辺の方々(「ホームページやSNSを見て」)が多かったのとは対照的で気になるところ。穿った見方だが、情報には接してはいても、今回はやめておこうと判断した方が、30代の中にいたのでは。

事務局 30代、40代の子育て世代では、子どもと一緒に見たい、子供に見せたいといったところへ

のアピールする部分は工夫する余地があったとは感じています。あまり前面に出さなかったという部分もあったが、今後に改善していきたい。

委員 ボールペン画の作品はオンライン展示に向いているのでは。ホームページやSNSへのアクセスが少ないというのは、観覧者数が減った要因の一つ、若い人が減るところにリンクしてくる。今回の「火球と隕石」展での情報入手や入館者、アンケート結果にどのように表れるか楽しみ。特に動画をユーチューブチャンネルにアップ、充実させている。コロナ禍が収まって、オンライン展示を充実させて若い世代にアピールがすることで、来館者数も増やせるのでは。そういった工夫がされると会場に足を運ぶ人も増えたのではと感じた。

事務局 作品は寄贈を受けることができたので、今後來館者数には結びつかないかもしれないが、そういった形の公開も有効だと思う。

委員 高齢の世代では、なかなかホームページを開くことが少ないと思うが、見てみると実によくできている。特に博物館日記やアーカイブ、こども向けのものもの素晴らしいと思う。高齢者は、紙媒体・広報やタウン誌から情報を得ることが多いのだが、これからはネットを利用する人も増えていこう。

事務局 博物館ホームページの「おうちではくぶつかん」は、4月から公開している。本日広報発表をするものだが、新しい番組「5分でわかる平塚学入門」を明日から公開するので、ご意見いただけたらと思う。

委員 そういったものはぜひ広報で取り上げてもらい、市民に知ってもらい見てもらえるようにしていただくとよい。

委員 情報の入手先で「その他」とあるが、どういったものか。

事務局 たまたま来館という方が、何名かおられたようだが、アンケートでは「新聞等」という項目があり、「ミニコミ誌」は対象外と考えられた方もあったのではと思う。

委員 平塚市の公式LINEが配信されているが、博物館の展示や行事は配信されてこないようだ。もっと広報として活用しては。情報発信の場としては将来的に、紙の広報のように増えていくのではないかな。

委員 30代が少ないということだったが、子育て世代ではなかなか難しいと思う。数字としては妥当に感じる。ただ、見られなかった方たちも、作品が館に寄贈されたとのことなので、今後繰り返し見る機会があるというのは、とてもよかったと思う。事業報告で、観覧者の感想や意見をたくさん載せていただき、共有できてよかった。

委員 「あなたと博物館」にユーチューブやオンライン展示についての情報も掲載したほうが、紙媒体、オンライン双方からのアクセスを考慮してみるともっと良いのでは。

事務局 紙媒体のためリアルタイムの情報提供が難しい部分があるが、ホームページに掲載したり、平塚駅前の地下通路に大きく引き延ばしたものを掲示している。

委員 いろいろな対応をされているとのことなので、その効果が表れるよう期待しています。

緊急事態宣言に係る対応について事務局浜野学芸担当長が説明資料により説明。

委員 動画コンテンツの「5分でわかる平塚学入門」は、非常に良い取り組みと思う。文化庁の「文化チャンネル」のように「顔出し」してもらおうとさらに親しみがわくのではと思う。5分の番組といっても毎週更新するというのは大変な作業であると思うが期待している。

事務局 全部で80タイトルほどあり分野によってばらつきはあるが、これまでの講座などのベースがあるので、頑張った更新していきたい。

委員 「平塚学講座」の展示図録を学校に配布して、この動画と合わせて授業で使ってもらおうと、平塚を理解するよい教材となると思う。

委員 新型コロナによっていろいろな問題を生じさせている。

事務局 展示解説ボランティアという会があり、来館者への展示解説を行っていただいているが、活動を休止している。新たな活動について知見などあればご教示いただきたい。

委員 「平塚学講座」の動画に、ボランティアの方に出演してもらい、質問してもらおうなど対話形式にするのもよいかと思う。

事務局 ボランティアによる解説動画をアップするというのも考えてみたが、常設展示の解説動画であるなら、本来学芸員が行うべきということで躊躇している。

委員 対面での解説に対して危惧されていると思うが、私の勤務していた館では、バックヤードツアーで無線式のマイク、イヤホンを介して行っていた。少人数になるが密を避けながら行うことも可能であるので、検討されてはどうか。

議題(2) 令和3年度予定について

令和3年度当初予算について事務局杉山管理担当長が説明資料により説明。

委員 教育委員会としては増額予算となっているようだが、博物館は17、18%の減となっているのはなぜか。

事務局 1700万円余りの減額となっているが、大きな原因は令和2年度に老朽化した設備の修理・受変電設備を更新したため、個々の事業費に関しては、ほぼ前年並みだった。特別展事業や教育普及活動での印刷製本費が減額となっているが、これは近年の印刷における入札での落札金額が低下していることによるものです。

委員 17、18%の大きな減であったので、教育普及活動に支障があるかと思ったが杞憂だった。

令和3年度事業計画について事務局浜野学芸担当長が説明資料により説明。

事務局 補足いたしますと、例年大型連休中に開催している「子供フェスタ」は、3年度の実施を断念したが、8月に子供を対象とした代替事業を展開できないか検討している。具体の事業としては、プラネタリウムの幼児投影や体験型行事を夏休み中の小中学生を対象に組み込むことを検討している。バックヤードツアーも同様に考えているが収蔵庫という狭い空間であるため、少人数にせざるを得ないため、これも開催方法を含め検討する。

委員 ワーキンググループの研究発表会も、中止になるのか。

事務局 博物館文化祭は、現状2月に開催する方向で予定している。

委員 各グループにとっては活動の動機づけになるので、開催予定であることはよかった。

事務局 今年度は、当初からグループの活動を休止していたこともあり、早い段階で中止を決定してい

た。来年度も中止ということになると2年続けとということになり、各会にとっても痛手となる。

委員 イブニングミュージアムはいかがか。

事務局 今の感染状況を見ると、夜間に時間延長してまでやるのがよいのかという迷いがある。これまでは夏あるいは秋の特別展にあわせ「イブニングミュージアムウィーク」ということで連続講座やプラネタリウムのイベントを行ってきた。これまでの開催で延長時間に入館される方は、行事の参加者に限られ、展示をご覧になる一般の来館者はほとんどいない状況であり効果がないと受け止めている。効果が限定的であるため、コロナ禍の状況では積極的には行わない方向で考えている。

議題（3）その他

春期特別展「火球と隕石」を藤井学芸員から解説した

次回の協議会は令和3年5月21日に開催予定。（その後7月9日（金）に変更。）

配 布 資 料

令和2年度 第3回平塚市博物館協議会 次第

令和3年3月25日（木）午前10時
平塚市博物館講堂

1 開会

2 議事

- (1) 報告事項等について
 - ・令和2年度秋期特別展
 - ・緊急事態宣言に係る対応について

- (2) 令和3年度予定について
 - ・令和3年度当初予算について
 - ・令和3年度事業計画について

- (3) その他
 - ・事務連絡等

3 閉会

※会議終了後、春期特別展の展示を御覧いただきます。

以 上

平塚市博物館

令和2年度秋期特別展「よみがえる少年の日々ー佐草健ボールペン画展ー」開催報告

- 1 会 期 : 令和2年10月3日(土)～11月29日(日)
- 2 時 間 : 午前9時～午後5時
- 3 会 場 : 平塚市博物館特別展示室
- 4 主 催 : 平塚市博物館
- 5 主 旨 : 平塚市中原の佐草健氏(大正15年～平成29年)は、昭和初期における中原の景観、子どもたちの遊びや暮らしの営みなど、自身の少年時代を思い出して描いたボールペン画を約70枚残された。カメラが一般に普及していなかった時代の日常生活を生き生きと描いたその作品は、当時の暮らしのありさまを具体的にうかがうことができる稀少な地域資料ともいえる。本特別展では、ボールペン画をはじめ、紙粘土で制作した人形など佐草氏の多彩な作品を通して昭和初期の中原の暮らしの様子を紹介する。

6 展示構成と展示資料:

◇展示構成

- ①平塚市中原 ②日枝神社の大絵馬 ③思い出のボールペン画
- ④佐草健氏一人と作品ー

◇主な展示資料

- ・佐草氏の作品: ボールペン画、紙粘土で製作した人形と模型、鷹狩の大絵馬、仏画、五月節句人形、五月節句の武者幟、水彩画
- ・関連資料: 佐草氏使用の画材用具、作品に関連する館蔵民具・写真

7 関連行事: ◇展示作品解説ー佐草さんの絵に見る90年前の中原

- ①10月31日(土) 10時30分～12時 講堂 事前申込制 参加者18名
- ②11月22日(日) 10時30分～12時 講堂 事前申込制 参加者19名

8 印刷物 :

- ・ポスター B2判150部、B3判150部
- ・リーフレット A4判両面 2,500部
- ・図録 A4横判 96頁 1,200部

9 展示期間中入館者数(令和2年10月3日～11月29日)

	入館者数			開 催 日 数	子 ど も の 割 合	一 日 平 均 入 館 者 数	図 録 売 上 数
	大人	こども	合計				
10月	1,988	654	2,642	25	24.8%	106	88
11月	2,259	545	2,804	25	19.4%	112	112
合計	4,247	1,199	5,446	50	22.0%	109	200
(参考)							
元年度春期特別展「空を見上げよう」	3,741	1,091	4,832	67	22.6%	72	79
元年度冬期特別展「賢治がみつめた石と星」	8,116	3,248	11,364	58	28.6%	196	779
元年度秋期特別展「平塚学入門」	7,795	3,440	11,235	62	30.6%	181	416

10 アンケート結果

- ・有効回答数 138枚
- ・回答者の居住地 市内91名、市外県内41名、県外関東地方2名、関東外1名
- ・回答者性別 男性58名、女性79名
- ・回答者年齢

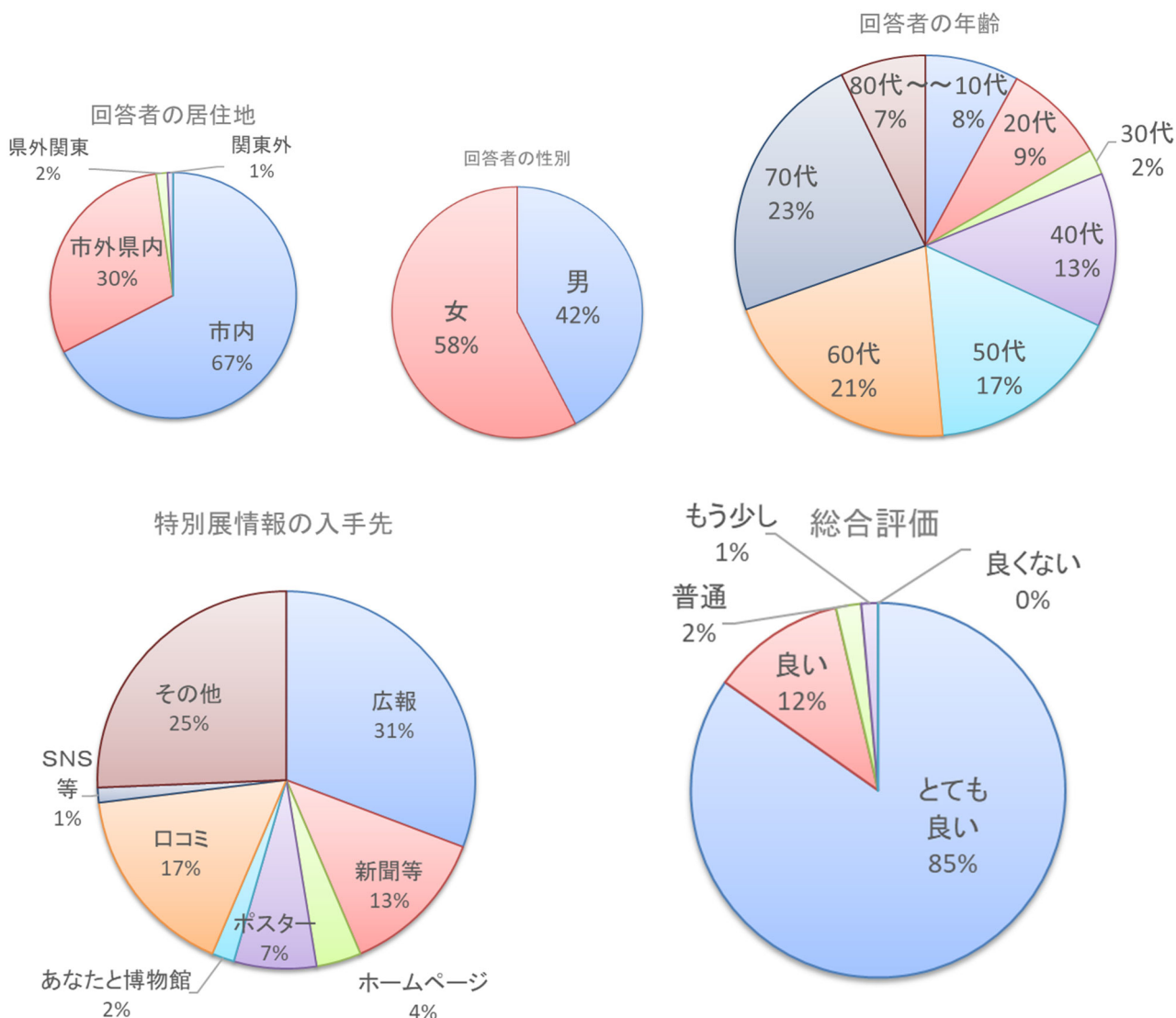
年代	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
人数	11名	12名	3名	18名	23名	29名	32名	10名

・情報の入手先

広報	新聞等	ホームページ	ポスター	あなたと博物館	口コミ	SNS等	その他
48名	20名	6名	11名	3名	26名	2名	40名

・評価

おもしろさ	非常に面白い 111名	やや面白い 20名	ふつう 5名	やや物足りない 0名	つまらない 1名
難しさ	とてもよくわかる 94名	まあわかる 33名	ふつう 8名	ややむずかしい 1名	とてもむずかしい 1名
総合評価	とても良い 117名	良い 16名	ふつう 8名	もう少し 2名	良くない 0名



感想、ご意見

- ・昔の絵はとても表現ゆたかで、この時代の子供達がいきいきとした表情がよく描かれてますね!! 今なんでもありで楽な時代なせいか、自分で考えてアソブ事をしなくなっている子供達が多い中、昔の子供達は外でアソブ事で仲間意識が出来ていると思います!! (50代 男性)
- ・描かれている絵が写真より目にやさしく、当時の様子を作画者の視線・記憶を通してみさせてもらっている。一市に一人、いてほしいくらいだ。(60代 女性)
- ・一般の方の記録は目線が身近で、とてもわかりやすいのか、興味がつきません。まだまだ市内各地域の発見を展示してもらえたら絶対見に来ます。11/29まで再訪します。(50代 女性)
- ・やさしくて几帳面な先生のお姿を思い出します。いつもおだやかで静かな話し方。私もスケッチ画をいただいています。大切にしたいと思います。お亡くなりになったことは知らず驚きました。絵で先生に会うことが出来良かったです。(60代 女性)
- ・絵にある道具など一緒に展示してあり、分かり易かった。昔の生活や暮らしが伝わって良い展示でした。(40代 女性)
- ・平塚の「昔」の姿が佐草先生の目を通して伝わってきました。子どもたちへのやさしさも、林間学校の記事からも読みとれました。入口の館長のあいさつ文も素敵です。(50代 男性)
- ・なつかしくて感動しました。私も70才、前向きになれました。(70代 女性)
- ・どの作品も心のこもった温かさを感じました。(60代 男性)
- ・とてもすばらしかったです。作品についてのお話をもっと聞きたくなりました。子ども達にも伝えていきたいことがたくさんつまっていて、またもう一度見にきたいと思います。(40代 女性)
- ・70才からのボールペン絵、頭が下がります。とても人生の励みになりました。(70代 女性)
- ・地域の方の聞き取りを交えながらスケッチを紹介しており、スケッチの資料価値がより深められている点が良かった。市民が地域をアイデンティファイできる企画展です。(40代 男性)
- ・本日は2回目の来館です。もう一度来ようと思っています。(60代 男性)
- ・日常生活を分かりやすく、そのまま描くのは、思う程簡単ではないはずですが、かなり理解しやすい形で描かれているのにおどろきました。(60代 男性)
- ・子どもの頃を思い出しました。写真もいいけど、人間の描いた絵は又別の意味で、いいものです。(70代 男性)
- ・とても素晴らしかったです。11/29までにもう1度来ます。(40代 女性)
- ・佐草健さんの人柄が良く表現されていました。自分達の子供時代がよみがえる作品に感動するばかりです。こう言う機会があれば次回も来館したい (70代 女性)
- ・とってもきれいな絵でした。なつかしかったです。学校のつくえがかわいかったです。(小学生 女)
- ・絵自体も興味深い資料ですが、それとあわせて当時の生活に関する資料が展示されていて、とてもわかりやすく、面白い展示でした。(20代 男性)
- ・住宅地になった現在の姿しか知らない為、このような風景が広がっていた事が新鮮に思えました。子ども達の楽しげな遊び、祭りの様子が羨ましくも思います。(40代 女性)
- ・今日で4回目。発見が楽しい。(50代 女性)
- ・まさかこの様な特別展に出会えるとは思いませんでした。一昨年亡くなった父の、まさに故郷。父が観る事が出来たらさぞかし喜んだと思います。何か、亡くなった父や祖父母、伯父さん達に会えた様な思いでした。(男性)
- ・人物の動きが表現豊かに描かれていて 思わず笑顔になる自分に すてきな画展を拝見し うれし

く思いました。十三仏様・観音様の掛け軸やお孫様達へのお人形にも感動しました。ありがとうございました。(70代 女性)

- ・絵の地名がよくわからないところがあり、できれば今の地図を比較対照に提示してほしい。(50代 女性)
- ・自分が今住んでいる場所の昔の情景が絵で見られたことがとても良かった。また、一緒に当時の農具や生活雑貨が展示されており、絵と見比べながら実物を知られたのでわかりやすかった。たまに不明な職業などが出てきて、その後に言葉の説明があって良かった。(40代 女性)
- ・貴重な資料を見る事ができてよかった。展示の説明やタイトルのつけかたがわかりやすく、理解しやすかった。休憩するイスがほしい、高齢者がつらかった。(50代 女性)
- ・写真から写したのではなく、頭の中のイメージを絵にした構図が実際の土地と変わらないところがすごい。繊細なボールペン画から大絵馬まで描かれていてすばらしい。(60代 女性)
- ・湘南ジャーナル、タウンニュースとロコミを聞いて、本日観覧させて頂きました。佐草先生の平塚市中原に対する思いや、学校の生徒たち、そして何よりも家族への愛を感じて、とても感動しました。平塚市内に生まれ育ち、仕事も平塚に勤めていますが、知らない歴史がまだまだたくさんあり、勉強になりました。また時間があったら見に行きたいと思います☺ (20代 女性)
- ・二回目です。図録がおもしろく、一気にスミからスミまで読み、もう一度見たくなくなってきました。谷川堀跡と谷川橋の一部は実際に見ましたが、谷川堀は西はひばり幼稚園、東は工場で行き止まりになってしまいました。今の地図上に書かれているとたどりやすいのですが……。これから、船漕、二つの立場跡、谷川橋跡をさがすつもりです。楽しいです。(70代 女性)
- ・解説がとてもわかりやすかったです。本日はありがとうございました。(30代 女性)
- ・祖父母や両親の生きた時代のふうけいをのこしてくださった佐草健さんにふかくかんしゃします。(40代 男性)
- ・お孫さんのために作った五月人形がすばらしい。愛情が感じられる。(70代 女性)
- ・当時の生活がとてもよくわかり貴重な資料になる。絵も素晴らしい、人形も表情がとてもよい、思わず微笑んでしまう。後々伝えるには個人としては限界があると思う。市(博物館)で保存を。年に1回は展示を！(70代 女性)
- ・思い出をたよりに、ここまで描けるとは……。今の私に昨日のことですら、絵にも描けないことが、ちとはずかしいやら、もどかしいやら……。 (40代 男性)
- ・昔当たり前だった事は今の僕らには知らない事ばかり 知っているようで改めて思い起こされ勉強になりました 佐草さんのすべてに誠実でいてねいな人柄に感銘を受けました (50代 男性)
- ・70歳から描かれたというのでびっくりしました。旅行に行かれても絵を描かれたというので、ご家族や地域の方達との触れ合いもあり、老後を幸福に過ごされたようで、学ぶことができました。奥様や家族への愛情、教え子の愛情など、愛情深い作品を見ることが出来、感慨深いものがありました。これら作品を大切にしている家族もすごいと思いました。今日はありがとうございました。(50代 女性)
- ・私は佐草氏と同世代を生きた人間として実に感慨深く拝見しました。若きよき時代の日々の生活が特に子供たちの情景がよく描かれていてなつかしかったです。それと共に昭和から令和の時代の中での様々な事が思い出され、現代の若い世代の方々にはどのような思いでご覧になったか知りたかったです。私にとっては実によい特別展としてすばらしい企画で感動のるつぽに巻き込まれた一時でした。(80代以上 女性)

緊急事態宣言(1/8～3/21)に係る博物館行事の対応について

令和3年(2021)3月18日現在

■開館

緊急事態宣言中も開館

■春期特別展「火球と隕石」

・開催

令和3年3月20日(土)～5月30日(日)

*混雑時は特別展示室内の入場制限を行う

・関連事業

講演会 → 緊急事態宣言発出時は中止

「星降り伝説を訪ねて」 澤村泰彦氏(当館元館長) 5/2(日) 申込制

「火球を観察しよう」 藤井大地(当館学芸員) 5/23(日) 申込制

星を見る会 4/23(金)、5/21(金) 申込制 → 緊急事態宣言発出時は中止

プラネタリウム一般投影「習志野隕石のふるさと」 → 緊急事態宣言発出時は中止

3/27(土)～6/6(日)の土・日曜日と3/31(土)・4/1(木) 当日整理券制

ミニ展示「月のクレーター」 5/13(木)～6/6(日)

・関連ウェブコンテンツ

YouTube 番組「モノづくりエイター」

プラネタリウム流星投影機、カーブミラーで火球観測、鉄球で人工クレーター実験、

ATOMCamで火球観測、老眼鏡で月面クレーター観察、流星のスペクトル観測、

プラネタリウム流星投影機改造編

隕石の3D図鑑

■プラネタリウムの投影中止

・一般投影「2021年の天文現象」 12/5～1/31 → 1/8～中止

・一般投影「太陽系探査の最前線」 2/6～3/14 → 中止

・一般投影「習志野隕石のふるさと」 3/20～6/6 → 3/20と3/21は中止

・学習投影 緊急事態宣言前に申し込みを受け付けた小学校は実施。

⇒11・12月に3校、1月の緊急事態宣言期間中は7校のうち5校実施(2校キャンセル)

■中止した行事

- ・博物館長の歴史放談 1月30日(土)・2月27日(土) *3月27日(土)は実施予定
- ・郷土史入門講座 1月24日(日)・2月21日(日)・3月21日(日)
- ・自然教室 3月6日(土)
- ・星を見る会 1月15日(金) *3月26日(金)は実施予定
- ・天文学入門講座 1月16日(土)・3月13日(土)
- ・最新天文学講座 1月10日(日)

■展示

- ・寄贈品コーナー(1階)
 - 「村絵図展」 令和2年12月10日(土)～3年1月17日(日)
 - 「酒匂川 vs 相模川ープレート境界に生まれた河川ー」 令和3年1月21日(木)～3月12日(金)
 - 「鎌倉武士の足跡をたどる」 令和3年3月18日(木)～5月9日(日)
- ・情報コーナー(2階)
 - 「ポスト特別展 よみがえる少年の日々」 令和2年12月12日(土)～3年2月28日(日)
 - 「東日本大震災から10年」 令和3年3月6日(土)～4月11日(日)

■年間会員制行事(ワーキンググループ)

緊急事態宣言中の活動は中止

■ホームページ

新動画コンテンツ「5分でわかる平塚学入門」を3月26日(金)から公開 以降毎週金曜日に更新

■緊急事態宣言解除後の予定

- プラネタリウム一般投影 ⇒ 当日整理券配布制で14時からの投影のみ再開、定員は32名に限定
- プラネタリウム幼児団体投影 ⇒ 4月7日(水)～受付開始
- 申込制行事・ワーキンググループ活動 ⇒ 再開(定員:屋内30名以下、屋外20名以下)
- 展示解説 ⇒ 休止

令和3年度 社会教育部予算構成

	(単位:千円) 令和2年度当初	(単位:千円) 令和3年度当初	(単位:千円) 前年度比
一般会計当初予算 合計	87,520,000	90,240,000	2,720,000
教育委員会予算(教育費) 合計	9,405,564	9,434,518	28,954
社会教育部(職員給与費除く) 計	1,477,031	1,594,989	117,958
<hr/>			
社会教育費(職員給与費除く)	1,317,394	1,448,047	130,653
社会教育課・・・社会教育総務費	51,571	50,352	-1,219
中央公民館・・・公民館費	727,778	866,638	138,860
中央図書館・・・図書館費	244,229	294,189	49,960
博物館・・・博物館費	99,633	82,056	-17,577
・・・市史編さん費	5,445	5,652	207
美術館・・・美術館費	188,738	149,160	-39,578
<hr/>			
保健体育費(職員給与費除く)	159,637	146,942	-12,695
スポーツ課・・・保健体育総務費	50,609	46,067	-4,542
・・・体育施設費	109,028	100,875	-8,153

令和3年度各事業の概要と予算

事業名	事業概要	予算 (単位:千円)
1 博物館特別展事業	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。令和3年度は、「平塚空襲」をテーマにした特別展などを開催します。	5,385
2 博物館教育普及活動推進事業	市民の生涯学習に役立てるため、体験学習、各種の講座、野外教育活動、プラネタリウム投影等を実施します。	32,356
3 博物館協議会事業	博物館の運営全般にわたる諮問及び協議を行うため、博物館協議会を開催します。	170
4 博物館管理事業	博物館の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の適切な維持管理を行います。	42,480
5 博物館情報システム事業	市民に地域への関心を深めてもらうため、博物館が集めた平塚及び相模川流域に関する情報を広くインターネットで発信します。	1,665
6 市史編さん事業	本市の歴史的発展過程を振り返り、郷土に対する市民の関心を高めるため、平塚市史を編さんします。 令和3年度は平塚市史「別編寺社(2)」の編集作業を継続して行います。	5,652
総計		87,708

博物館 令和3年度歳出予算一覧

博物館特別展事業

費目	主な支出内容	R2予算	R3予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	507	486	-21
旅費	調査・資料収集出張旅費	54	54	0
消耗品費	特別展示用消耗品	640	640	0
印刷製本費	図録等印刷代	3,372	3,281	-91
通信運搬費	資料等運搬費	88	88	0
委託料	特別展用看板・パネル等製作委託料	780	780	0
原材料費	展示等作成用原材料	48	56	8
事業費計		5,489	5,385	-104

博物館教育普及活動推進事業

費目	主な支出内容	R2予算	R3予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	2,361	2,361	0
旅費	調査・資料収集出張旅費	247	249	2
消耗品費	調査研究・展示・プラネ・OA機器消耗品等	1,149	1,149	0
印刷製本費	ポスター・出版物、写真DP等	1,924	1,892	-32
物品修繕料	展示機器・プラネタリウム機器等修繕料	2,310	2,315	5
通信運搬費	寄贈資料等運搬費	44	44	0
委託料	資料等保存処理委託等(D52・ホルマリン・剥製)	335	335	0
使用料賃借	プラネタリウム設備、OA機器リース料等	23,574	23,574	0
原材料費	展示等作成用原材料	36	49	13
備品購入費	研究活動用機材等	300	300	0
	プラネタリウム投影機器買取(31年度)			0
負担金	博物館協会等年会費等	94	88	-6
事業費計		32,374	32,356	-18

博物館協議会事業

費目	主な支出内容	R2予算	R3予算	前年度差
報酬	博物館協議会委員報酬	170	170	0
事業費計		170	170	0

博物館管理事業

費目	主な支出内容	R2予算	R3予算	前年度差
報酬	会計年度任用職員	695	698	3
旅費	会計年度任用職員通勤手当	39	39	0
消耗品費	管理用事務用品等	328	378	50
光熱水費	電気・ガス・水道代等	7,887	7,832	-55
物品修繕料	備品等修繕料	350	300	-50
施設修繕料	設備等緊急支出用修繕料等	13,762	1,500	-12,262
通信運搬費	電話・FAX代等	446	384	-62
手数料	各種設備法定検査費用(水質・煤煙)	61	48	-13
保険料	建物総合損害共済分担金	52	51	-1
委託料	施設管理委託料等	34,972	30,098	-4,874
使用料賃借	施設リース料(城島プレハブ)等	1,152	1,152	0
事業費計		59,744	42,480	-17,264

博物館情報システム事業

費目	主な支出内容	R2予算	R3予算	前年度差
報償費	情報機器入力作業協力者謝礼	252	168	-84
消耗品費	WEBシステム用消耗品	34	34	0
委託料	レンタルサーバ運用費(30費目変更)	121	121	0
使用料賃借	WEB関連機器リース料	1,449	1,342	-107
事業費計		1,856	1,665	-191

市史編さん事業

費目	主な支出内容	R2予算	R3予算	前年度差
報酬	会計年度任用職員報酬	2,084	2,094	10
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	294	445	151
報償費	執筆協力者・資料整理協力者謝礼等	2,602	2,602	0
旅費	会計年度任用職員通勤手当	116	116	0
消耗品費	事務用品等	156	156	0
印刷製本費	資料等印刷代	100	100	0
通信運搬費	図書館施設電話代	53	55	2
委託料	OA機器保守委託料(複合機)	30	74	44
負担金	県歴史資料取扱機関連絡協議会年会費	10	10	0
事業費計		5,445	5,652	207

展 示

夏期特別展では、平塚空襲の実態および被災前後の市民生活の様相をお伝えします。秋期特別展では、神奈川県地質とその成り立ちに関する最新の知見を紹介します。春期特別展では、市内における近年の発掘調査成果を紹介します。「第21回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を発表します。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野の企画展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展やミニ文化祭を開催します。

特別展	春期特別展 「火球と隕石」	2021 3月 20日 ~ 5月 30日
	夏期特別展 「平塚空襲 -その時、それまで、それから-」	7月 16日 ~ 9月 5日
	秋期特別展 「神奈川の地質」	10月 23日 ~ 1月 10日
	第21回博物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演-	2022 2月 5日 ~ 2月 20日
	春期特別展 「掘り起こされた平塚4」	3月 19日 ~ 5月 8日

寄贈品 コーナー	考古 「鎌倉武士の足跡を辿る」	2021 3月 18日 ~ 5月 9日
	天文 「月・月食」	5月 13日 ~ 6月 6日
	自然系 「新着資料展 -自然分野-	6月 19日 ~ 7月 18日
	考古 「市内の遺跡を歩く」	7月 22日 ~ 9月 5日
	全体 博物館実習生制作展示	9月 17日 ~ 9月 29日
	生物 「(仮)中勘助展」	10月 2日 ~ 11月 3日
	人文系 「新着資料展 -人文分野-	11月 6日 ~ 12月 5日
	地質 (内容未定)	12月 9日 ~ 1月 16日
	民俗 (内容未定)	2022 1月 20日 ~ 2月 23日
	歴史 (内容未定)	2月 26日 ~ 4月 3日

情報 コーナー	地質 ひらつか防災まちづくりの会 「東日本大震災から10年」	2021 3月 6日 ~ 4月 11日
	天文 天体観察会天体写真展	4月 15日 ~ 6月 6日
	天文 ポスト特別展「火球と隕石」	6月 19日 ~
	以下、内容未定	

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に行います。当面は、投影時間を午後2時からの1回のみとし、32名の定員で実施します。感染状況が改善されれば、午前11時からの投影や特別投影等を実施します。また、幼児団体投影は市内の園のみ、学習投影は市内および隣接市町の学校に限定し、予約制で水・木・金曜日午前に実施します。

一般投影	一般向け投影 「習志野隕石のふるさと」	2021 3月 27日 ~ 6月 6日
	一般向け投影 「フリートーク・プラネタリウム」	6月 19日 ~ 7月 18日
	一般向け投影 「惑星たちのNo.1決定戦！」	7月 24日 ~ 9月 26日
	一般向け投影 「電波で探る宇宙 ~アルマ望遠鏡10年の軌跡」	10月 2日 ~ 11月 28日
	一般向け投影 「2022年の天文現象」	12月 4日 ~ 1月 30日
	一般向け投影 「鎌倉武士が見た星空 ~吾妻鏡に残された天の記録」	2022 2月 5日 ~ 4月 3日
特別投影	星空散歩 (6回)	2021 10月 3日 ~ 3月 6日
	星空音楽館 (2回)	2021 11月 14日 ・ 1月 23日
	星よりも、遠くへ (3回)	2022 3月 11日 ~ 3月 13日
コンサート	シアトリカル・プラネタリウム (2回)	2021 8月 20日 ・ 3月 25日
	プラネタリウム・コンサート	未定

各種普及行事

当面の間、すべての行事を事前申込制で実施します。

申込制 行事	考古	縄文人になろう	2021 8月 8日
		考古学入門講座 (3回)	2021 10/23 11/20 12/18
	歴史	郷土史入門講座 (3回)	2022 1/23 2/20 3/20
	民俗	石仏めぐり	2021 10月 24日
		体験学習「お飾りをつくろう」	2021 12月 19日
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」(3回)	2021 4/24 9/25 2/26
		体験学習「化石レプリカをつくろう」(2回)	2021 8月 12日 ・ 8月 20日
	生物	自然教室 (7回)	2021 4月 17日 ~ 3月 19日
		きのこの観察会	2021 10月 21日
	天文	星を見る会 (10回)	2021 4月 23日 ~ 3月 11日
		天文学入門講座 (8回)	2021 5月 8日 ~ 2月 12日
		望遠鏡を作って月食を観察しよう (3回)	2021 5/15 5/16 11/19
		不思議な板で万華鏡を作ろう	2021 8月 6日
		体験！宇宙飛行士選抜試験	2021 8月 17日
	総合	平塚学講座	未定

会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回日曜日
		古代生活実験室	毎月1回木曜日
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
	地質	地球科学野外ゼミ	毎月1回土・日曜日
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
	天文	天体観察会	毎月1~2回土・日曜日
	総合	展示解説ボランティアの会	毎月1回木曜日

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2021 6月 7日 ~ 6月 18日
博物館実習	2021 9月 8日 ~ 9月 16日

* 新型コロナウイルスの感染状況等により展示や行事の内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、最新の「博物館ホームページ」「広報ひらつか」等でご確認ください。